

# 新型コロナウイルス対策について

令和2年4月3日

新型コロナウイルスは私たちの生活を劇的に変化させています。私たちが考える日常や公的生活、社会的な付き合い・・・こうしたものすべてがかつてないほど試されています。

そして何よりも困難なことは、おそらく、いつもなら当たり前の触れ合いがなくなっていることでしょう。もちろんこのような状況で私たちはみな、これからどうなるのか疑問や心配事です。この課題を自分の課題として理解すれば乗り越えられると思います。事態は深刻です。あなたも真剣に考えてください。みんなが一致団結した行動が重要です。みんな一人一人が必要とされている理由と一人一人がどんな貢献ができるかを考えてください。世界中で懸命に研究が進められていますが、コロナウイルスに対する治療法もワクチンもまだありません。この状況が続いている限り、唯一できることは、ウイルス拡散スピードを遅らせ、数か月にわたって引き延ばすことで時間を稼ぐことです。研究者がクスリとワクチンを開発するための時間です。また、発症した人ができる限りベストな条件で治療を受けられるようにするための時間でもあります。

重要なことの一つは、各自が理性と判断力を持って公的生活を可能な限り制限することです。人から人への感染リスクを可能な限り抑える必要があります。それは今、命を救うために不可欠なことです。ウイルスの速すぎる拡散を阻止する効果的な手段は、私たち自身です。私たちの誰もが同じようにウイルスにかかる可能性があるように、今誰もが皆協力しウイルスに感染しないようにする必要があります。

まずその協力は、今何が重要なのかについて真剣に考えることです。私たちが力を合わせて行動することで自分たち自身を守り、お互いに勇気づけることができるかということでもあります。私たちは、ウイルスの拡散をただ受け入れるしかない運命ではありません。私たちには、対抗策があります。思いやりからお互いに距離を取ることです。ウイルス学者の助言は明確です。握手はもうしない。頻繁によく手を洗う。最低でも1.5メートル人との距離をとる。特に高齢者は感染の危険性が高いのでほとんど接触しないのがベストということです。私たちは好意を身体的な近さやスキンシップとして理解しています。残念ながら現在はその逆が正しいのです。これはみんなが本当に理解しなければならないことです。よかれと思ってする訪問や、 unnecessaryな旅行や飲み会、こうしたことすべてが感染拡大を意味します。現在は本当に控えるべきです。 unnecessaryな接触を避けることで、病院で日々増え続ける感染者の世話をしているすべての方々の命を救うことなのです。多くの人にとってはきついことでしょう。誰もが一人にしないこと、声かけと希望が必要な方たちの世話をすることも重要になってきます。今は距離だけが思いやりの表現なのです。一人一人がどれだけきちんと規則を守って実行に移すかということにも事態が左右されるということです。いままで一度も経験したことがなくても、思いやりを持って理性的に行動し、それによって命を救うことを示さなければなりません。

今、みんなで一一致団結してこの危機を乗り越えましょう。

社長 小野裕二